



# フェローズシュレッダー M-470Ci 取扱説明書・保証書



**フェローズジャパン株式会社**

〒141-0031 東京都品川区西五反田4-32-1 東京日産西五反田ビル2号館7F  
TEL 03-5496-2401

[www.fellowes.co.jp](http://www.fellowes.co.jp)

# 目次

はじめに	1	日常のお手入れ	13
安全上のご注意	1	細断くずを捨てる	13
付属品の確認	5	インターロックスイッチ	14
各部の名称	5	シュレッター専用オイルについて	14
設置	7	本体外側のお手入れ	15
設置場所に関する注意	7	こんなときは	16
本体の設置と準備	7	本製品が停止したときは(オーバーロードプロテクション機能)	16
使いかた	8	紙詰まりを起こしたときは	16
細断できる物	8	コントロールパネルのランプが点灯または点滅しているときは	17
紙の細断	8	故障かな?と思ったら	18
クレジットカードの細断	10	製品仕様	18
CDの細断	10	フェローズシュレッター保証書	19
安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™)	12		

## はじめに

このたびはフェローズシュレッターM-470Ci(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は安心してお手軽にお使いいただけるシュレッターです。

使用前に必ず本書をよくお読みいただき、安全にお取り扱いください。また、本書はすぐ取り出せる場所に保管してください。

## 安全上のご注意

本製品の設置場所や電源に関するご注意など、使用前に知っておいていただきたい注意事項を記述しています。本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

### 絵表示

本製品を正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

### <絵表示の例>



気を付ける必要があることを表しています。



してはいけないことを表しています。



しなくてはならないことを表しています。

## 警告



### 子供使用禁止

- 乳幼児や小さなお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。思わぬ事故の恐れがあります。
- 絶対にお子様に触れさせたり、使わせたりしないでください。やけど、感電、けがの恐れがあります。



### 手を入れるな

- 細断中は紙から手を離してください。絶対に指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。特に、小さな紙を細断するときは注意してください。紙と一緒に手が投入口に引き込まれ、けがををする恐れがあります。
- カッター部には絶対に手を触れないでください。けがををする恐れがあります。
- 投入口、排出口、機械内部には絶対に手や棒などを入れないでください。けがの原因となることがあります。



### 衣類巻き込み注意

- ネクタイ、ネックレス、服の袖や裾、プレスレット、腕時計のベルトやチェーンなどを投入口やその近くにたaraさないでください。引き込まれてけがの原因となることがあります。



### 髪の毛巻き込み注意

- 髪の毛を投入口やその近くにたaraさないでください。引き込まれてけがの原因となることがあります。



### 可燃スプレーを使用しない

- 可燃性エアゾールスプレー(潤滑剤やエアダスター)などを吹きかけないでください。スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発を起こす恐れがあります。



### コンセントを抜く

- 作業が終わったら電源を切ってください。また、使用しないときはコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や思わぬ事故の原因となることがあります。
- 万一、発熱したり、煙が出たり、異臭がするなど異常な状態になったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
- 万一、水などの液体や金属片などの異物が本体内部に入ったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。
- タコ足配線をしないでください。  
火災、感電の恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、無理に曲げたり、引っばったりしないでください。  
火災、感電の恐れがあります。
- 電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。  
火災や感電の原因となります。
- ボタン電池などの電池類は、絶対に投入しないでください。  
電池が破裂して火災が発生する恐れがあります。
- 本製品が故障したり、一部が破損したまま使用しないでください。  
けがや感電の恐れがあります。



分解禁止

- お客様ご自身による分解、改造、修理は絶対に行わないでください。  
火災、感電、けがの恐れがあります。



濡れ手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の恐れがあります。



注意



注意

- 本製品は紙専用のシュレッダーです(付加機能として、CDやクレジットカードの細断も可能)。他の用途には使用しないでください。ホッチキスは10号針まで細断可能です。それ以上大きいものは、必ず取り除いてから細断してください。  
故障の原因になります。
- 本製品は日本国内専用として製造、販売しています。日本国外で使用した場合のいかなる結果についても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。



安定した場所に設置

- 水平で安定した場所に設置してください。  
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置すると、落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
- 本製品は重心の位置が高いので、転倒に注意してください。万一、操作中に転倒した場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてから起こしてください。



アース線接地

- 必ずアース線を接地(アース)してください。
- アース線は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
- アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

- 以下の物を投入しないでください。
  - ・粘着シール、宅配便の送り状、各種テープ類など糊の付いた紙
  - ・各種フィルム、ビニール、ポリ袋、OHPシート
  - ・カーボン紙、インクリボン、新聞紙
  - ・布類
  - ・和紙など繊維の粗い紙故障や詰まりの原因になります。
- 濡れた紙や湿った紙を投入しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。
- 細断してはいけない書類を投入口の近くに置かないでください。  
誤って投入口に入り、細断される恐れがあります。
- 直射日光のあたる場所に設置しないでください。  
電子部品の誤動作や故障の原因となることがあります。
- 熱器具に近い場所に設置しないでください。  
本体のキャビネットや電源コードが変形して、誤動作や火災、感電の原因となることがあります。



コンセントを抜く

- 本製品はコンセントの近くに設置してください。また、いつでも簡単に電源プラグが抜き差しできるように、コンセントの近くに物を置かないでください。
- 電源コードは折ったり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。  
束ねたまま使用すると、過熱の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持って引っぱらないでください。  
コードが破損して、火災や感電の恐れがあります。



水をかけない

- 本製品に水などの液体をかけないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



物を置かない

- 本製品の上に花瓶や植木鉢、コップ、水の入った容器などを置かないでください。  
転倒して本製品内部に水が入ると、火災、感電の恐れがあります。
- 本製品の上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。  
けがの原因となることがあります。



設置環境に注意

- 冷暖房機の近くや高温多湿になる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。

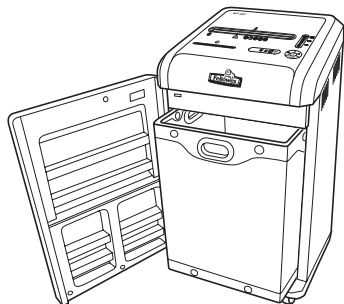


コンセントを抜く

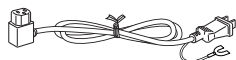
- 細断くずを捨てるときやお手入れをするとき、長期間使用しないとき、本製品を移動するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

# 付属品の確認

## ●本体(キャビネット、専用ダストボックス)



## ●電源コード

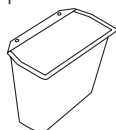


製品に同梱している電源コードは、同梱されている製品のみ使用できます。同梱している製品以外には、この電源コードを使用することはできません。

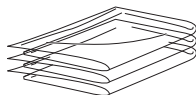
## ●取扱説明書(本書)



## ●メディアトレイ



## ●ゴミ袋

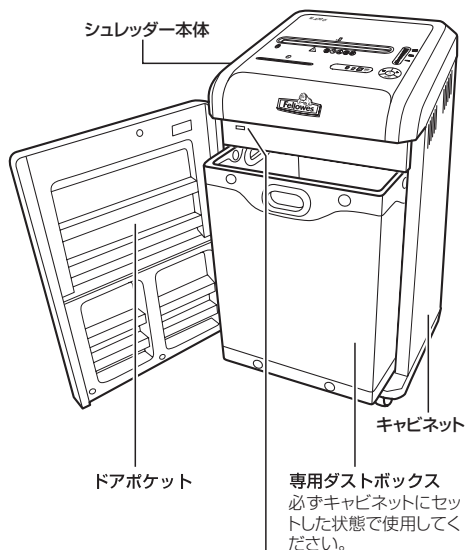


## ●シュレッダー専用オイル(試供品)



☒☑ 出荷前のテストで使用した用紙やCDのかけらが、排紙口や専用ダストボックス内に残っていることがありますので、あらかじめご了承ください。

# 各部の名称

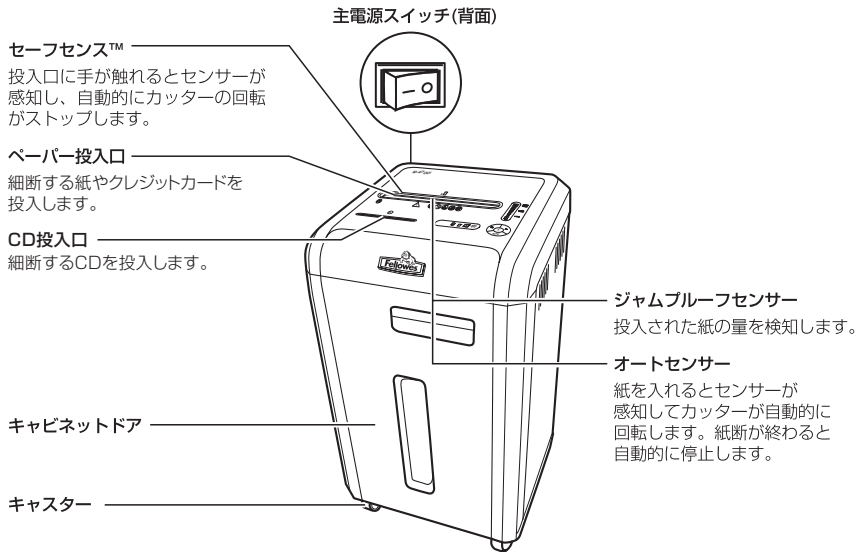


### インターロックスイッチ

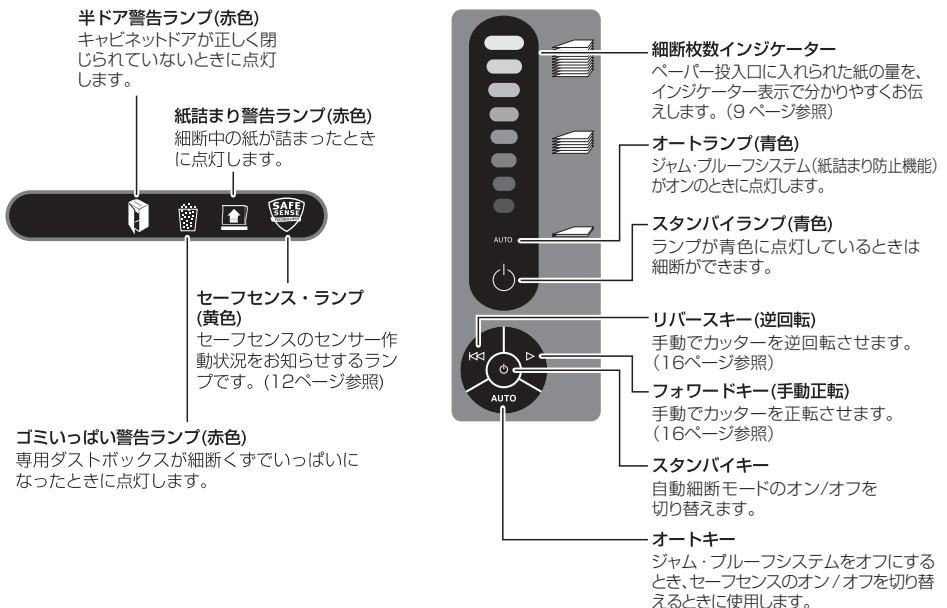
安全のため、本製品はキャビネットドアが開いているときは作動しません。キャビネットドアを閉じ、インターロックスイッチをキャビネットドア内側の突起が押すことで、本製品が使用できるようになります。



## ●シュレッダー本体



## ●コントロールパネル



# 設置

本体を設置し、使うための準備をします。

## 設置場所に関する注意

次の注意を守って設置してください。

- 電源プラグの抜き差しが簡単にできるよう、電源コンセントの近くに設置してください。
- 水平な場所に設置してください。
- 換気の良い場所に設置してください。
- 壁や家具などからは10cm以上離して設置してください。
- 小さなお子様やペットが触れて誤って作動しないよう、手の届かない場所に設置するか、使用後に主電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜いてください。

## 本体の設置と準備

- 1 パッケージから本体を取り出して、水平な場所に置きます。
- 2 背面の主電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本体(背面)に接続します。電源プラグをコンセントに接続します。



# 使いかた

## 細断できる物

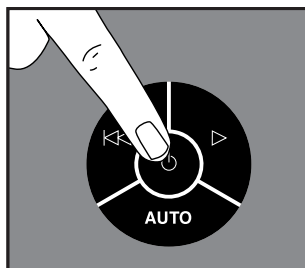
- 紙(1度に細断できる枚数はA4コピー用紙12枚まで)
- ✕紙を折りたたんで投入する場合は、紙の厚みが増しますので、1度に細断できる枚数が減ります。
- CD、DVD
- クレジットカード、キャッシュカードなどのプラスチック製カード
- 紙製カード
- ❗注意 プリペイドカードなどの薄型カードや定期券、運転免許証、ラミネート加工されたカードは細断できません。
- ❗注意 FD、MD、MO、ZIP、その他各種メモリーカードは細断できません。
- ❗注意 細断するCDやDVD、カードなどの素材によっては、完全にバラバラにできないことがあります。ただし、その場合でもデータは破壊されていて修復できません。

## 紙の細断

1 主電源スイッチをONにします。



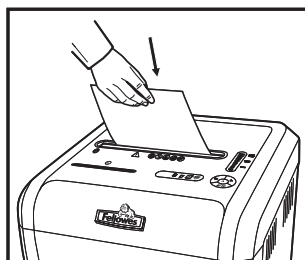
2 スタンバイキー(⏻)を押します。



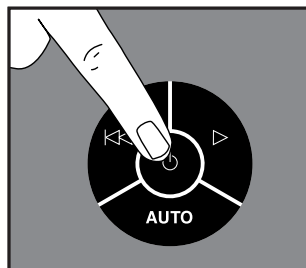
3 スタンバイランプ(青)が点灯して、自動細断モードになります。

4 ペーパー投入口に細断する紙をまっすぐに入れ、すぐに手を離します。

- ❗警告 紙を投入したらすぐに手を離してください。ずっと紙をつかんでいると、投入口に手が引き込まれ、けがをする恐れがあります。小さい紙を投入するときは特に注意し、絶対に指で押し込んだりしないでください。



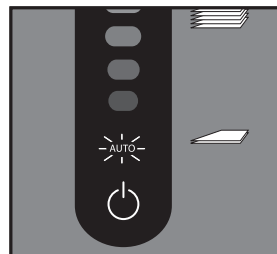
- 5** 細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。  
スタンバイキーを押して自動細断モードをオフに  
します。  
スタンバイランプ(青)が消灯します。



- 6** 主電源スイッチをOFFにし、電源を切ります。  
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いて  
ください。


### ジャム・プルーフ システム

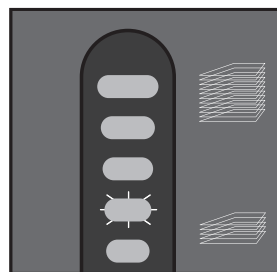
細断枚数インジケータのオートランプが青色に点灯し  
ているときは、ジャム・プルーフ システム(紙詰まり防止  
機能)が作動しています。



投入された紙の量を細断枚数インジケータがお知らせ  
します。

規定の枚数以上の紙が投入された場合は、細断枚数イン  
ジケータの赤いランプが点灯し、カッターが回転しま  
せん。

 規定の枚数以内であっても、紙が折れ曲がるなどして投  
入する紙の厚みが増した場合、いったん細断作業を停止  
することがあります。5～10秒後、センサーが細断可能  
と判断したら再び細断作業を開始します。

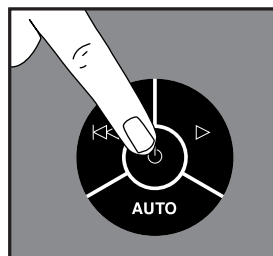


### ジャム・プルーフ システムをオフにして使用する場合

- 1** オートキーを押しながら、リバースキー(逆回転)を押します。
- 2** オートランプ(青)が消えているときは、ジャム・プルーフ システムが作動しません。  
ジャム・プルーフ システムをオフにして使用中に紙詰まりが起きた場合は  
16ページを参照してください。

## 省エネモード

電源ONのまま2分以上使用しないでいると、省エネモードになります。  
スタンバイキーを押すか、紙を投入すると、再び細断できます。

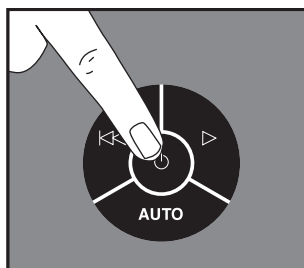


## クレジットカードの細断

- 1 主電源スイッチをONにして、スタンバイキーを押します。  
「紙の細断」の手順1～3を参照してください。
- 2 ペーパー投入口のカードのマークに合わせてクレジットカードを1枚ずつ入れます。
  - ！注意 カードはジャム・プルーフセンサーを避け、ペーパー投入口のカードのマークに合わせて入れてください。端に入れると、オートセンサーが反応しない場合があります。
  - ！注意 カードは奥までしっかり差し込んでください。カードをしっかり差し込まないと、細断くすがペーパー投入口に詰まる場合があります。
- 3 細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。スタンバイキーを押して、主電源スイッチをOFFにします。  
「紙の細断」の手順5～6を参照してください。

## CDの細断

- 1 主電源スイッチをONにします。
- 2 スタンバイキーを押します。
- 3 スタンバイランプ(青)が点灯して、自動細断モードになります。

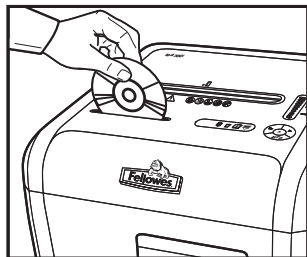


## 4 CD投入口に、CDを1枚ずつ入れます。

**警告** CD、DVDを細断するときは上部をつまんで投入してください。

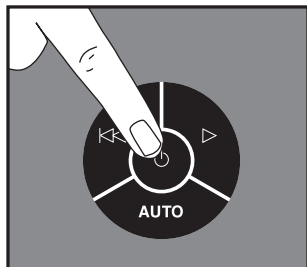
ディスクの中央の穴に指を入れて投入すると、ディスクが引き込まれるときにけがをする恐れがあります。

**注意** CDの細断と紙の細断を同時に行うことはできません。



## 5 細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。スタンバイキーを押して自動細断モードをオフにします。

スタンバイランプ(青)が消灯します。



## 6 主電源スイッチをOFFにし、電源を切ります。

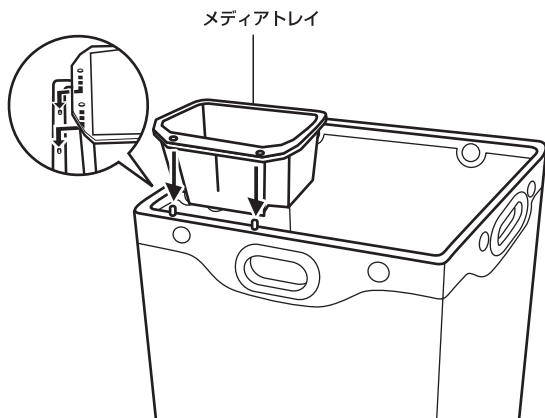
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### メディアトレイ

CDを細断するとき、付属のメディアトレイを専用ダストボックスにセットすると、細断くずを紙とCDに分別することができます。

### メディアトレイをセットします。

**注意** 専用ダストボックスにメディアトレイをセットしたまま紙を細断すると、細断くずがメディアトレイにも落ちますので、完全に分別することはできません。

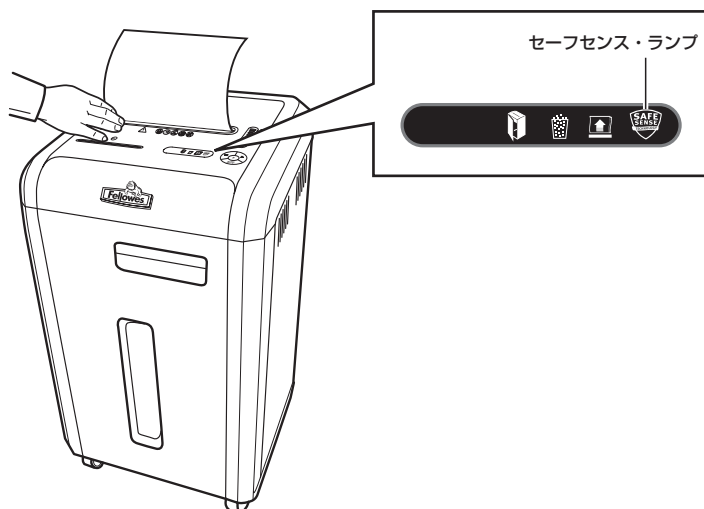


# 安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™)

セーフセンスがオンになっているときにペーパー投入口のメタル部分に手が触れると、人体から出る微弱な電流をセンサーが感知して、自動でカッターを停止します。このとき、セーフセンス・ランプが点灯します。

(セーフセンスがオフのときは、セーフセンス・ランプが点滅します。)

セーフセンスは、オートキーを約4秒押すと、オン/オフが切り替わります。通常ご使用になるときは、常にオンにしておいてください。詰まった紙を取り除くとき、場合によってはオフにすることもあります。(17ページ参照)



次のような場合はセーフセンス機能が動きませんので、ご注意ください。(手が触れても止まりません。)

- セーフセンスをオフにしている
- 手袋などを着用している
- 毛髪や体毛が金属部分に触れている
- 極端な乾燥肌
- 厚いゴム底の靴など、電気を通さない靴を履いている
- シュレッダーの上に乗っているなど、身体のどの部分も床に接していない

**注意** 湿った紙は投入しないでください。感電の恐れがあります。また、セーフセンスが反応してカッターが止まることがあります。

**注意** セーフセンスのセンサー(ペーパー投入口のメタル部分)に2秒以上触れると、オフモードになります。再び使用するときはスタンバイキーを押してください。

# 日常のお手入れ

## 細断くずを捨てる

専用ダストボックスが細断くずでいっぱいになったら、次の手順で細断くずを捨ててください。

- ✕**Ⓜ** 細断くずがたまったまま使用を続けると、細断くずがカッターに巻き込まれて故障の原因となる場合がありますので、早めの処分を心掛けてください。
- ✕**Ⓜ** 専用ダストボックスが細断くずでいっぱいになると、本製品は動作しません。このときゴミいっばい警告ランプが点灯します。細断中であれば自動的にカッターが止まります。

1 背面の主電源スイッチをOFFにします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 キャビネットドアを開けて専用ダストボックスを取り出し、細断くずを処分します。

**注意** 細断くずは、各自治体の定める規定に従って廃棄してください。

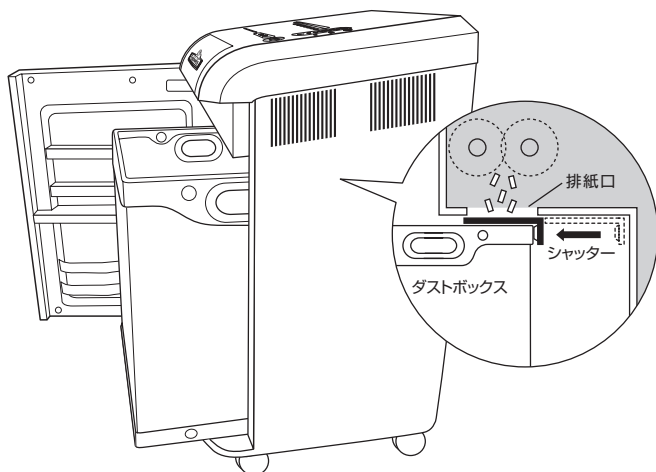
4 専用ダストボックスを元どおり本体にセットして、キャビネットドアを閉めます。

**注意** キャビネットドアが正しく閉じられていないと、電源をONにしても半ドア警告ランプが点灯して本製品は動作しません。

## こんな機能もあります

専用ダストボックスを引き出すと、細断くずが散らばるのを防ぐため、排紙口(本体底部)のシャッターが閉まります。

- ✕**Ⓜ** 専用ダストボックスを引き出すとき、ひっかかりを感じる場合があります。専用ダストボックスを強く引き出してください。



## インターロックスイッチ

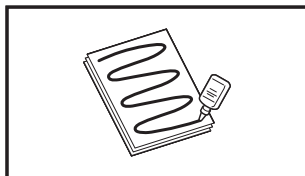
本製品は安全のため、キャビネットドアが正しくセットされていないと作動しません。本体内部前面にインターロックスイッチがあり、キャビネットドアの内側の突起がこのスイッチを押すことによって、本製品が使用できるようになります。

## シュレッダー専用オイルについて

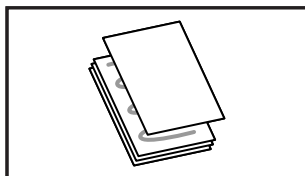
本製品にはシュレッダー専用オイルが試供品として同梱されています。カッターのお手入れは、純正の専用オイルをご使用ください。(フェローズシュレッダー専用オイル #37250)

## シュレッダー専用オイルの使い方

- 1 コピー用紙3～4枚を重ねた後、一番上の紙に図のように専用オイルを塗ります。



- 2 オイルを塗った紙の上にもう1枚コピー用紙を重ねます。



- 3 できあがった紙をそのままシュレッダーにかけます。

## 本体外側のお手入れ

1 背面の主電源スイッチをOFFにします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。



3 本体の外側を柔らかい布で乾拭きします。

**✖️** 汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて拭いてください。

**⚠️** シンナーやベンジンなどの有機溶剤は変色、変形、傷の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

**⚠️** エアゾール式の潤滑油およびクリーナーなどは絶対に使用しないでください。  
マシン内部で引火し爆発や火災の恐れがあります。

**⚠️** カッターの刃には手を触れないよう、充分ご注意ください。

**⚠️** 火災や爆発の危険がありますので、絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレッダー機構部に噴霧したり、エアゾールをペーパー投入口から噴霧しないでください。

シュレッダーのペーパー投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレーを噴霧した場合、シュレッダー内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダーの主電源スイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。

### 【使用厳禁のスプレー】

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| ・可燃性スプレー式の潤滑剤             | ・可燃性スプレー式の汚れ落とし剤     |
| ・可燃性スプレー式のエアーダスター         | ・可燃性スプレー式の静電気除去剤     |
| ・可燃性スプレー式のオイル、グリス、シリコングリス | ・可燃性スプレー式の錆止め、錆び落とし剤 |
| ・可燃性スプレー式の洗剤              | ・その他エアゾール式の可燃性スプレー全て |



# こんなときは

## 本製品が停止したときは(オーバーロードプロテクション機能)

本製品は、過大な負荷がかかったとき、オーバーヒートによる故障を防ぐためにモーターが停止する、オーバーロードプロテクションという機能を備えています。

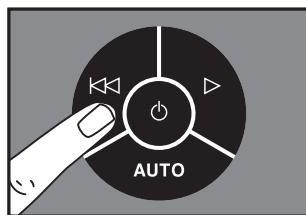
このオーバーロードプロテクション機能が働き本製品が停止したときは、次の手順で操作してください。

- 1 主電源スイッチを「OFF」にします。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 約45分、そのまま放置します。
- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。  
主電源スイッチを「ON」にすれば、再び使用できるようになります。

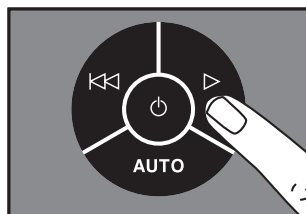
## 紙詰まりを起こしたときは

お使用の状況により、ペーパー投入口に紙が詰まり、細断が停止することがあります。そのときは、次の手順で操作してください。

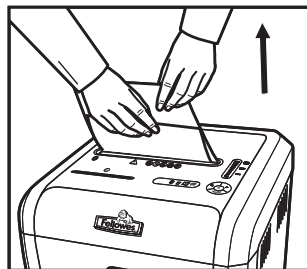
- 1 リバースキー(逆回転)を押します。  
カッターが逆回転し、詰まった紙を押し出します。  
カッターを逆回転させても紙が押し出されないときは、手順2に進んでください。







- 2 フォワードキー(手動正転)を押します。  
カッターが通常の方向に回転します。再び紙が詰まりそうであれば、フォワードキーから手を離してください。



手順1～2を繰り返し、紙を取り除きます。  
 このとき、投入口に手を触れる必要がある場合は、セーフセンスをオフにします。(12ページ参照)  
 紙詰まりが解消したら、必ずセーフセンスをオンにしてください。



### コントロールパネルのランプが点灯または点滅しているときは

		原因	対策	参照ページ
	点灯	キャビネットドアが開いています。	キャビネットドアを閉めてください。	13ページ
	点灯	専用ダストボックスにゴミがいっぱいになりました。	ゴミを処分してください。	13ページ
	点灯	投入口に紙が残っています。	投入口の紙を取り除いてください。	16ページ
	点灯	セーフセンスが作動しています。		12ページ
	点滅	セーフセンスがオフになっています。	オートキーを約4秒押して、セーフセンスをオンにしてください。	12ページ

# 故障かな？と思ったら

症状	確認内容	参照ページ
動作しない	電源プラグはコンセントに正しく差し込まれていますか？	7ページ
	背面の主電源スイッチはONになっていますか？	8、10ページ
	コントロールパネルのスタンバイのランプ(青色)が点灯していますか？	8、10ページ
	ペーパー投入口やCD投入口の中央に入れてありますか？	8、10、11ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	9、16ページ
	省エネモードになっていませんか？	10ページ
細断が止まる・ 細断できない	紙を入れすぎていませんか？	8、9ページ
	投入口の幅より広い紙を入れようとしていませんか？	8、9ページ
	紙が斜めになっていませんか？	8、9ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	16ページ

これらの確認をしても問題が解決しないときは、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社カスタマーサポート(TEL 03-5496-2401)までご連絡ください。

## 製品仕様

品名	M-470Ci
寸法 H × W × D (mm)	785×450×435mm
質量	41kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	650W
電流	6.5A
連続使用時間	連続
投入幅	240mm
細断サイズ	紙/クレジットカード: 2×12mmクロスカット CD: 10mmストレートカット
最大細断枚数 (A4 コピー用紙 64g/m <sup>2</sup> )	12枚
細断速度	4.0m/分
コードの長さ	1.5m
ダストボックス容量	60ℓ 0.8ℓ(メディアトレイ)

Part No.404185 M-470Ci/0907